報 告・連 絡 書

令和５年４月２６日（水）

校長	教頭	教務主任	関　係　職　員	〈報告者〉職・氏名 東海村立舟石川小学校 教頭・大内　清隆

〈相手方（会議名等）〉	〈区分〉
第１回学校運営協議会	会議・　電話　・　来訪 その他（相談・会合）

〈主　題〉**令和５年度における舟石川コミュニティ・スクールの協働体制づくりについて**

１　日　時　　令和５年４月２５日（水）１５：３０～１６：４０

２　場　所　　舟石川小学校　会議室

３　参加者　　学校運営協議会員６名、学校教育課（藤咲）、社会福祉協議会（小倉）、校長、教頭、学年主任６名

４　協議等の内容

※コミュニティ・スクールへの支援者を「CSCS 協力者」と標記する。

（１）萩谷会長より

・昨年度中に回覧板で概要を知らせることができた。
・先生方の協力に感謝して、コミュニティ・スクールの内容をぜひ充実させたい。

（２）塙校長より

・子どもたちの学びや成長を見守る体制づくりを目指したい。
・地域とともにある学校づくりを大切に進めたい。・・・グランドデザインの説明より

（３）各学年の授業計画について

【１年】生活科「むかしあそび」・・・１月（３学期）
・昔遊びの材料や玩具は学校で用意する。
・保幼小連携事業の一環として近隣の幼稚園・保育所から年長児が参加する予定である。

【２年】朝の読み聞かせ・・・通年（１～３学期）
・毎月１～３回程度実施したい。
・選書（本選び）は CS 協力者にお願いして、児童（低学年）の発達段階に合ったもの、CS 協力者が読みやすい作品を選んでほしい。

【３年】図工「スクラッチ」・・・６月（１学期）
・どんな手法の作品づくりか？
→→→下塗りした画用紙に違う色を重ね、重ねた色をひっかいて作品をつくる。
・作品の作り方などについて事前に打ち合わせる必要がある。
・作品づくりを指導するのではなく、児童に寄り添う方向で支援を考えた方がよい。

【４年】図工「まぼろしの花」・・・５～６月（１学期）
・絵画作品→→→空想上の花の絵を描く。
・励ましや声かけを中心に、児童にかかわってほしい。

【５年】水泳学習・・・６～７月（１学期）
笠松プール（３日間）　①6 月 2 日(金)　②6 月 16 日(金)　③6 月 30 日(金)
東海スイミングプラザ（未定）→→今後、日程調整が行われる予定
・登録している CS 協力者は水泳もできると思われるので水着を用意するように声をかける。
・プールで児童が溺死するニュースもあったので、複数の大人の見守りが必要だと思う。
・保護者にも協力依頼などをしているのだろうか。
→→→昨年度も保護者の協力をいただいている。先日のＰＴＡ総会において、「学校の保護者も大切なコミュニティ・スクールのメンバーである」ことを説明させてもらった。
【６年】家庭科「ミシン」・・・９月中旬から１０月中旬（２学期）
・ナップザックづくりの支援をお願いしたい。
・登録されている CS 協力者３名の他にも協力してくださる方を探したい。
・くわしい日程はいつごろ連絡してもらえるのか。

（４）体制づくりの課題について
①学校から各自治会（舟石川１区、舟石川２区、船場）への発信
・詳細な授業計画は１か月前までを目安に作成する。
・作成した授業計画は次の方法で発信する。
◆各学年主任→→→登録している CS 協力者へ（メールまたは電話、郵便などで）
◆教頭→→→各自治会へ（舟石川１区、舟石川２区、船場）
◆教頭→→→学校教育課、社会福祉協議会へ
②地域住民への募集・CS 協力者の応募について
・自治会の回覧板を有効利用したい。
→→→自治会への加入が減っている現状を見ると、回覧板にも限界がある。
・学校からも保護者に広く周知する手法をとる。・・・(学メル便、リーバーの利用)
③学校と CS 協力者との連携の取り方
・各学年が直接 CS 協力者と連絡を取り合う。
・連絡にはメールを基本とする。
→→→LINE の方が使い慣れている人も多いので、柔軟に対応する。
→→→電話、郵便は補助的に利用することとする。
・必要に応じて事前の打合せを行う。
・自治会ですでに CS 協力者に登録している方々はコミュニティ・スクールへの期待も大きい。見通しが立てられるような資料を添えて連絡をとるのがよい。
→→→教頭が早急に対応する。
・学年が連絡をとるときに CS 協力者のメールアドレスを聞き取り、教頭が一覧表にまとめる。

５　その他
・登下校の見守りをする CS 協力者及び保護者、子ども会関係者等と児童との交流機会を設ける。・・・２学期ごろ
・学校教育課、社会福祉協議会には今回の協議内容を報告し、情報を共有する。
・第２回学校運営協議会は１学期末（７月）に開催する。・・・日時は未定